

令和6年度 第1回 富塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月10日（金） 14時40分から16時00分まで
- 2 開催場所 富塚中学校 2階会議室
- 3 出席委員 金原 圭吾、安間 忠雄、池谷 定康、松澤 久仁美、行森 瑞恵
- 4 欠席委員 高須 博、島田 篤志、久保田 智彦、田口 美貴子
- 5 オブザーバー 野嶋 京登（富塚協働センター主任：コミュニティ担当）
- 6 学 校 中津川 貴一（校長）、廣野 幸恵（教頭）、深田 貴代（教務主任）、藤原 啓子（CS担当教職員）、岩邊 三幸（CSディレクター）
- 7 教育委員会 牧野 知子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 1人
- 9 会議録制作者 CSディレクター 岩邊 三幸
- 10 会長の選出及び副会長の指名
司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、金原委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された金原委員から、池谷委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 11 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から松澤委員を推挙する旨の発言あり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - （1）学校運営の基本方針について
 - （2）TS活動について
 - （3）夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
- 12 会議記録
司会の教頭から、委員総数9人のうち5人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 学校教育目標にある「富中でよかった」というフレーズを浸透させるために、例えば保護者が参観会等で来校した際に掲示する等、このグラウンドデザインを多くの人の目に触れるようにしてはどうでしょうか。（安間委員）
- ・ 保護者にも富中のいいところをメモにしてもらい、それを共有する等、学校内だけでなく、地域の方にも富中の良いところを挙げてもらい、お互いに自覚するというのも面白い機会になるのでは。（池谷委員）
- ・ 「富中プライド」という言葉も根付いているので、「富中でよかった」というフレーズを広め浸透

させるのもよいのではないのでしょうか。(金原委員)

⇒そんな風に捉えていただけると有り難いが、自分の思いで書いたものであって、あまり押し付けるものではないかと思うが、今お話にあったことは実現できないか、今後検討させて頂きたい。(校長)

- ・ 子供たちが富中のいいところをお互いに話し合う機会はあるのでしょうか。(金原委員)

⇒生徒間でお互いのいいところをメモにし、交換しあったりすることはよくやっている。(深田主任)

- ・ 例えば生徒同士でブレインストーミングのような話し合いをする。富中の魅力についてお互いの意見を挙げていくことで、考えを整理することができ、また、それが郷土愛を深めることにも繋がる。富中のよいところや魅力について見える化し、共有していく。いいを再認識でき、魅力を発見できる。そういうものを何かここから発信できるとよいなと思います。(金原委員)

また、校長から、「生活の心得」の見直しという点で、委員に意見を求めたところ、以下の発言があった。

- ・ 校則で靴下を自由にするということを生徒同士での話し合いで決まったということは、保護者に伝わっているのでしょうか。(安間委員)

⇒昨年度お知らせと共に、その経緯についてはさくら連絡網やHP等で説明済である。(深田)

- ・ 子供たちが主体性をもって話し合ったことに意義がある。またそこで靴に関しては踏みとどまったということは更に素晴らしいことである。色々な決め事に子供たちを参画させてあげるのもいいかと思う。(金原委員)
- ・ 校則の改正について保護者からの反対意見はあったのか？(松澤委員)
- ・ ⇒保護者からの反対意見は聞いていない。(校長)
- ・ 今までの伝統的な部分と、周りの環境の変化等を総合的に含めて判断した結果であり、私たち大人よりも深く考えているのだと思う。(池谷委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) TS活動について

議長の指示により、藤原教諭から、別紙資料に基づきTS活動について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・ 昨年見学させていただいたTS発表会では、中学生ながらもPowerPointを駆使し、スライドで上手くまとめ発表できており、普段は見られない子供の成長を感じることができた。できれば父親も参観できるような日程にしていいただければと思います。(安間委員)
- ・ ⇒昨年度と同様に、第3回の運営協議会では、委員の方に3年生のTS全校発表会を見てもらう予定となっております。また、今年度は12月6日に1、2年生も参観会の一環としてTSの発表会を保護者に見てもらう予定となっている。(深田)
- ・ 以前は土曜に参観会があったが、コロナ禍でそういった機会がなくなり、今では父親が参観できる機会が減ってしまった。(松澤委員)
- ・ ⇒今年は参観会や体育大会も人数制限がなくなったので、是非見に来ていただきたいと思います。(校長)

- ・ 3年生のTS発表で優秀なものは、文化発表会の場やいろいろな場でたくさんの方に見てもらおうようにしてみてもいいでしょうか。子供の視点から大人が学ぶということもある。(金原委員)
- ・ PowerPointの操作については、先生方が指導するのでしょうか。(金原委員)
 - ⇒基本的な技術面は授業の中で指導している。一年生の時から、先輩方の発表する姿をみて、よいものを吸収し、自分のやり方で消化できるのは富塚の生徒ならではのと思う。(藤原)
 - ⇒タブレットを使うようになって、紙面で書くのが苦手だった子が、いろいろな資料を使って打つとなるとやり易いという場合もある。(深田)
- ・ 子供たちがタブレットで色々なスキルや情報を取り入れているが、中には学習とは関係のないサイトを見ている子もいると聞いた。(池谷委員)
 - ⇒ブロックをかけていても、ごく稀ではあるが、中にはセキュリティを潜り抜けて見ている子もいる。情報モラルについては私たちも繰り返し指導していかなければいけないと考えている。5月下旬に全校生徒と保護者を対象にした情報モラル講座を開催予定である。(校長)
- ・ 富中の生徒は積極的にボランティア活動に参加してくれている。活動の中で、子供のグループには必ず大人がつくようにしており、そうすることで双方に交流が生まれ、お互いよりよい関係性を築くことができる。ボランティア活動は中学生の間ですが、卒業してからも参加する子もおり、就職する上でボランティア活動を通して人と人との繋がりが大切だということが分かったというような声を聞くこともあり、そのような子が増えてきたことが嬉しく思っている。何事も最初が肝心で、中学生にとってこの最初ボランティア活動や、地域のことを知るというこのプログラム事業が非常に重要だと感じている。この学校運営協議会において、中学校における3年間の生活だけではなく、小学校からの成長過程のことを垣間見ながら、その後の展開まで考えるとすごく良いと思います。(野嶋)

(4) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

議長の指示により、教頭から、今年度の夢育やらまいか事業に対する意見書についての説明があり、子供たちの育みに有益に活かしていきたいとの報告があった。

その他の連絡事項

司会から、次回会議は令和6年9月2日(月)午後1時30分から授業参観をした後、午後2時から2階会議室で開催し、熟議内容についてはいじめ防止について行うという旨の連絡があった。